

バラ新品種候補：
グレー系薄紫色の中輪「ひたち1号」（仮称）と
ピンク色のカップ咲き中大輪「ひたち2号」（仮称）の育成

農業総合センター生物工学研究所

【研究の概要】

茨城県の県花であるバラは産出額約3億円で、主要な施設花き品目の一つです。しかしながら、近年は花き需要の低迷や燃料費高騰により経営が厳しくなっていることに加え、全国的に品種が画一化されていることから差別化による有利販売も難しい状況にあります。そのため、当研究所では他産地との差別化が可能なオリジナル性を有し、生産性が高いバラの育成に取り組んでいます。今回、グレー系薄紫色の中輪バラで花色や花形等に優れブライダル用途に適する「ひたち1号」と、ピンク色のカップ咲き中大輪バラで収量性が高く幅広い用途に適する「ひたち2号」を育成しました。



写真1 「ひたち1号」の花姿



写真2 「ひたち2号」の花姿

【「ひたち1号」の品種特性】

- 平成24年に「07C44」と「ストレンジア」を交配して得られた実生から選抜した新品種候補です。
- グレー系薄紫色の上品な花色**（写真1）で、香りを有します。ロゼット～平咲きの中輪で花弁数は多いです。
- 採花本数（収量性）は普通で、切花長、切花重及び茎径は大輪系バラ代表種の「アヴァランチェ+」と同程度ですが、花高は小さいです。
- 日持ち性は芳香性品種「イブピアッチェ」と同等です。

【「ひたち1号」の評価】

- 県内及び東京都中央卸売市場の関係者からは**花色、花形の評価が優れ、ブライダルやギフト等に適する**と評価されました。
- 県内のブライダル装花事業者からはブライダル用途に適し、**取引単価は平均以上**と評価されました。
- 現地試験では生産者が新品種導入の際に**重要視する形質（収量性・商品性等）は普通～極良の評価**でした。

【「ひたち2号」の品種特性】

- 平成27年に「不詳」と「生研1号」を交配して得られた実生から選抜した新品種候補です。
- ピンク色の花色**（写真2）で、香りを有します。開花が進むにつれて中大輪～大輪となります。カップ咲きで花弁数は多いです。
- 多収性品種「アヴァランチェ+」と比べて、**採花本数（収量性）は多く**、切花長、切花重及び茎径は同程度ですが、花高は小さいです。
- 日持ち性は普通～やや良です。

【「ひたち2号」の評価】

- 県内及び東京都中央卸売市場の関係者からはそれぞれ**花色及び花形、ボリュームが評価**されました。
- 用途としては小売りやギフトに適する**と評価され、**会場装花やアレンジメント等**の意見もありました。
- 現地試験では生産者が新品種導入の際に**重要視する形質（収量性・商品性等）は普通～良の評価**でした。

【将来の展望】

- 「ひたち1号」は高単価で取引されるブライダル向け品種として、年間3.5万本の出荷本数が見込まれます。
- 「ひたち2号」は幅広い用途に供される高収量性品種として、年間5.5万本の出荷本数が見込まれます。